

# 景観の届出図面の作成例

「景観まちづくりに係る行為の届出・通知書に」添付する図面等の作成例を掲載しました。また、図面の作成では、景観形成マニュアル等の資料を活用して行います、参考として以下に作成手順を示します。

## (1) 千代田区景観形成マスタープランの内容確認

- ① 5つの基本方針、界限別の方針の確認（計画地のある界限のもの）

## (2) 千代田区景観形成マニュアルの概要の確認

- ① 5つの基本方針ごとに定めた10のキーワード（計50個）の確認
- ② 各キーワードの考え方等の確認

## (3) 千代田区美観地区ガイドプランの内容確認

- ① 当該ガイドプランの対象区域の確認
- ② 計画地が当該対象区域にある場合は、ガイドプランの内容確認

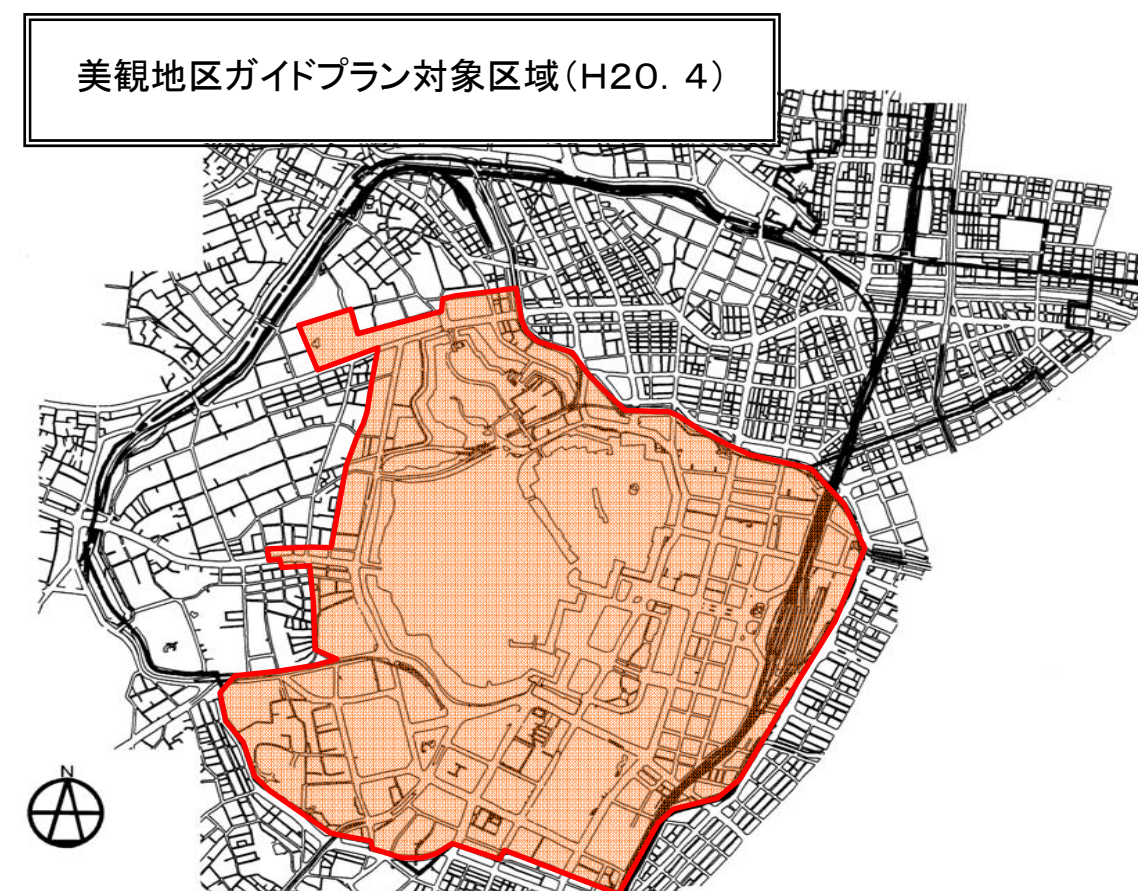
## (4) 計画地周辺のまち並み景観の状況の調査・把握

- ① 計画地周辺のまち並み景観の状況を調査し、景観特性を把握
- ② 前項①を受けて、望ましい「キーワード」を選択し、これを「設計の手がかり」として活用し、良好な景観形成の設計に入る。
- ③ 図面には「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示する。

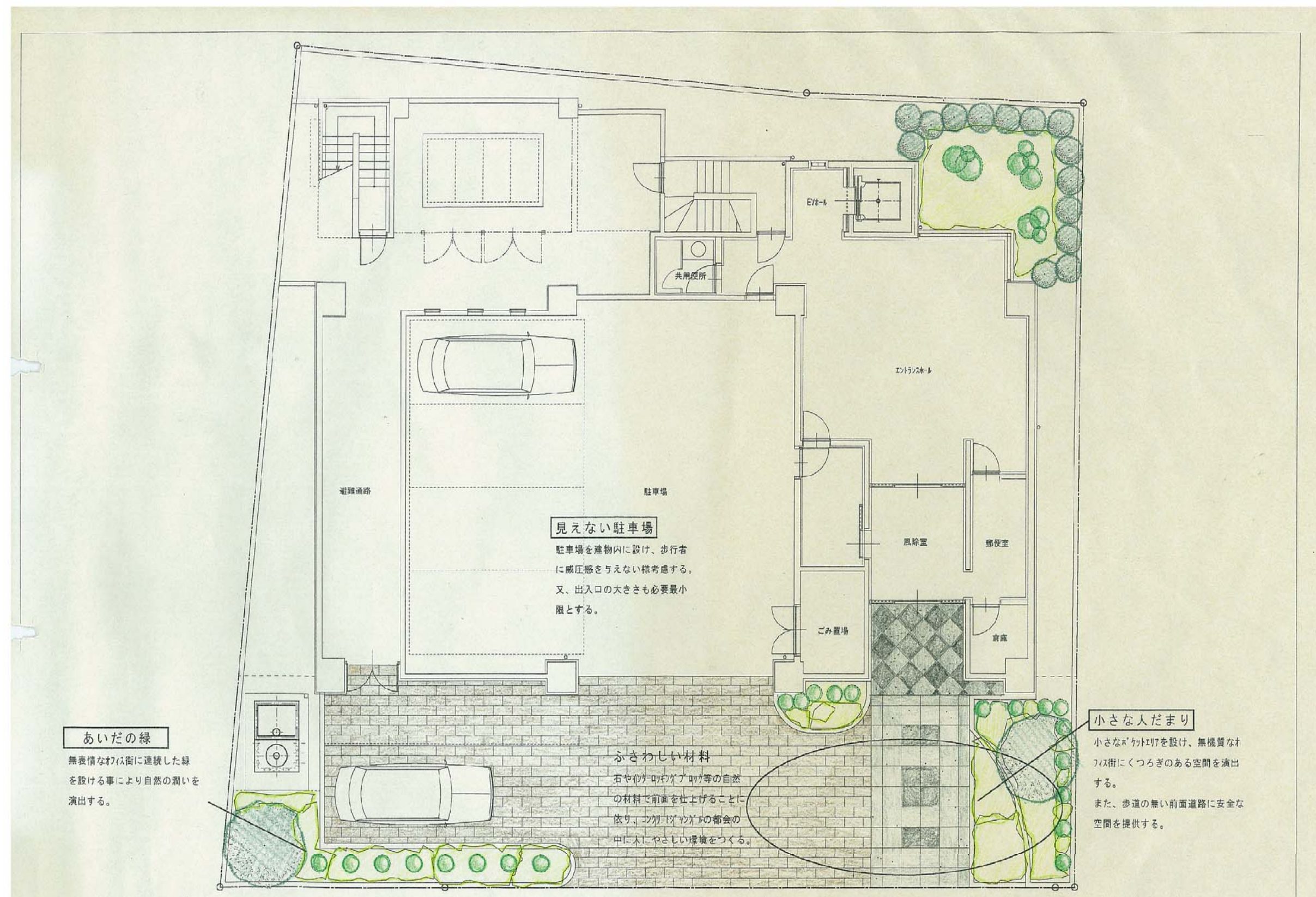
## ※ 景観の届出図面等の作成例

- (1) 着色した位置図・1階平面図等 ..... 1
- (2) 着色した立面図 ..... 6
- (3) 景観計画書 ..... 1 1

## ※ 千代田区美観地区ガイドプランの対象区域

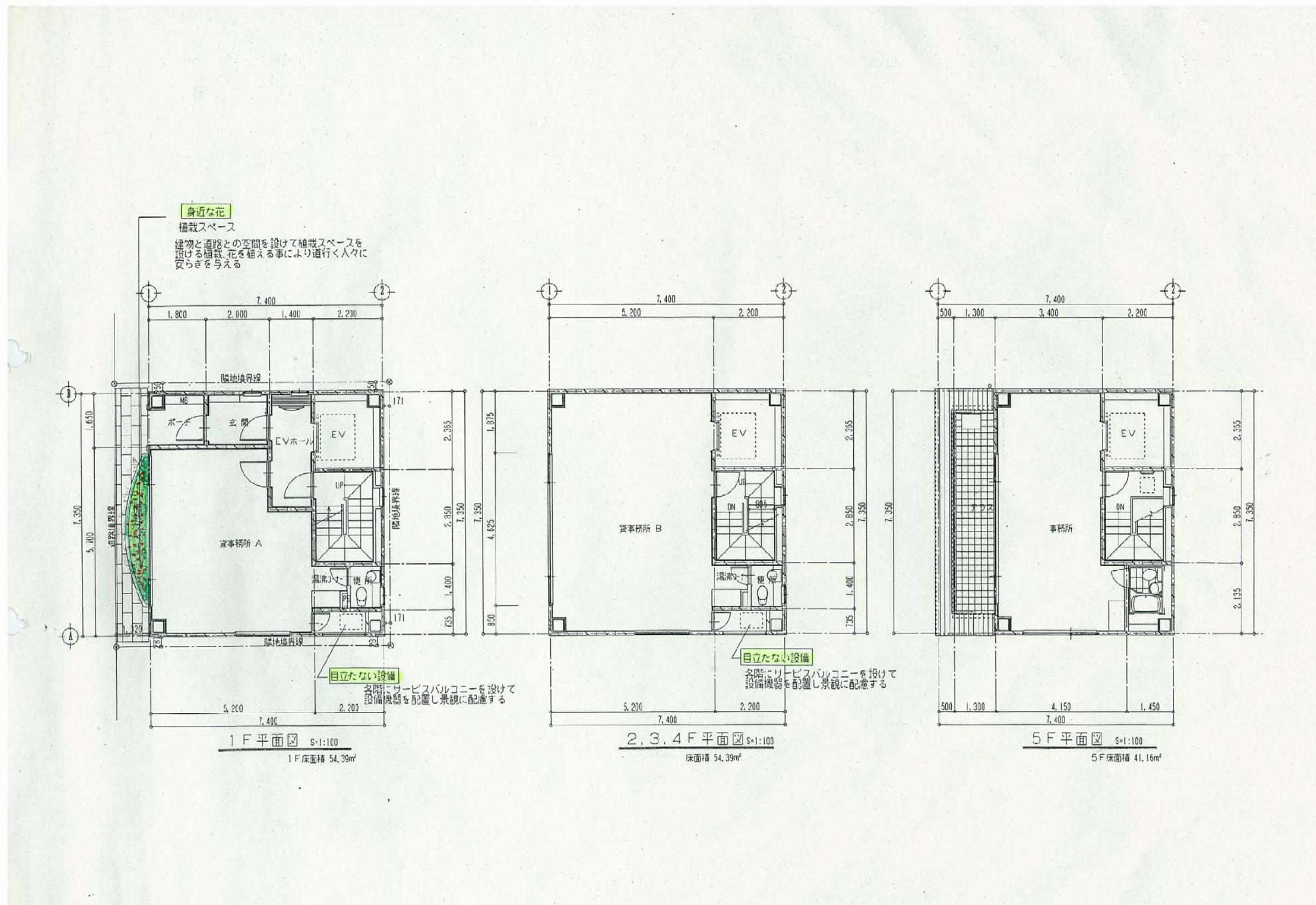


(1) 着色した位置図・1階平面図



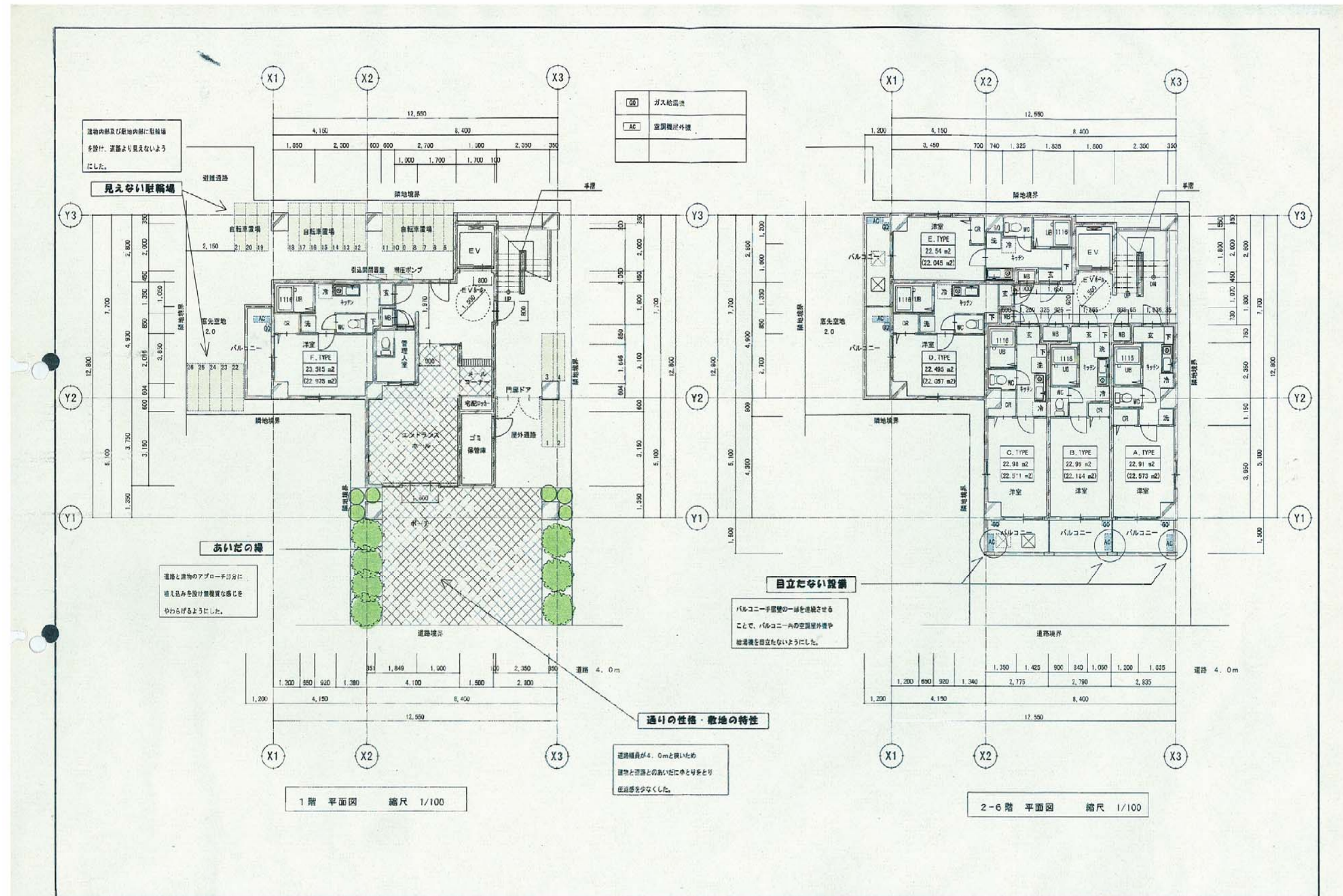
着色した配置図・1階平面図

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



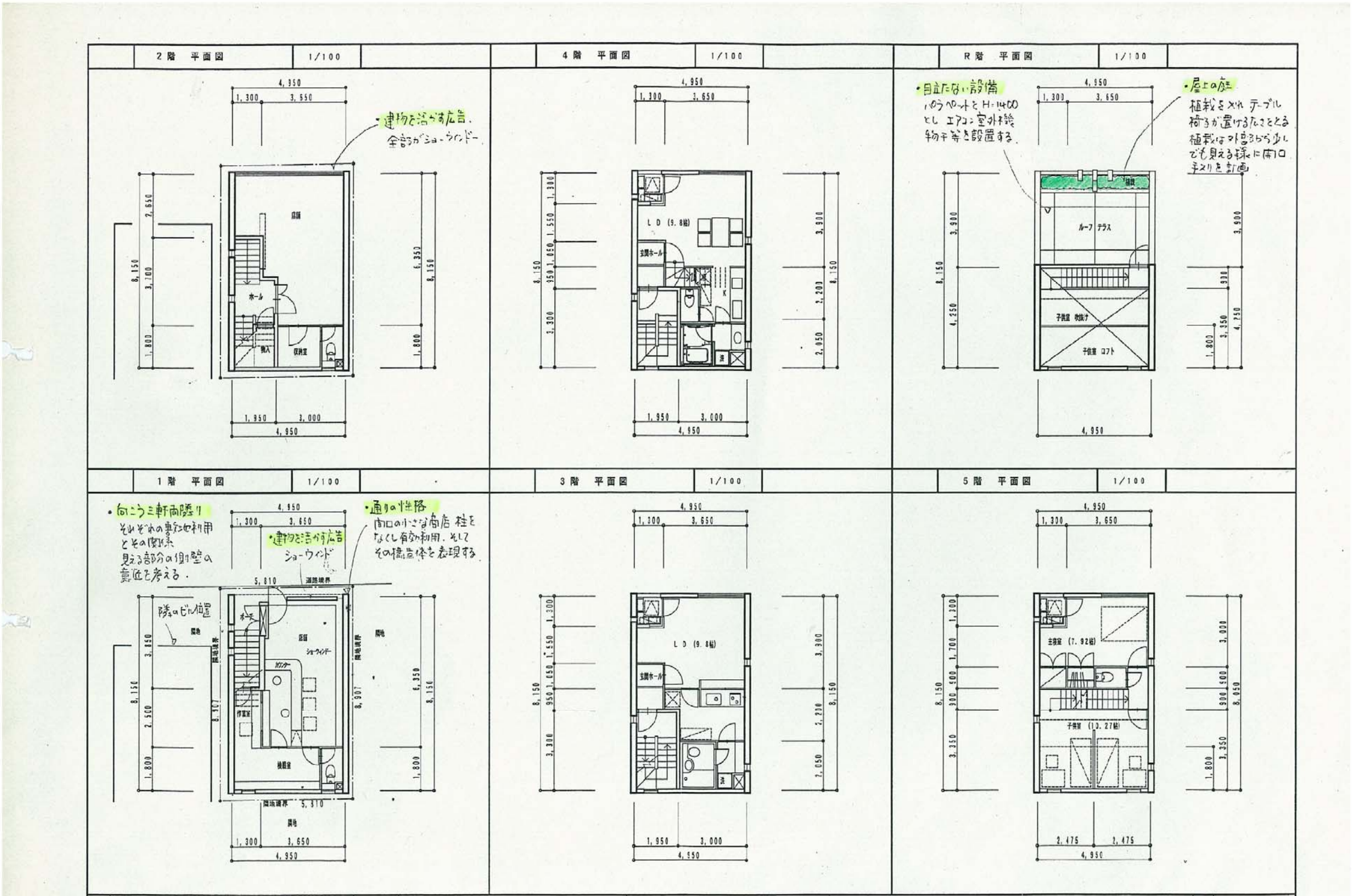
着色した配置図・各階平面図

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



## 着色した配置図・各階平面図

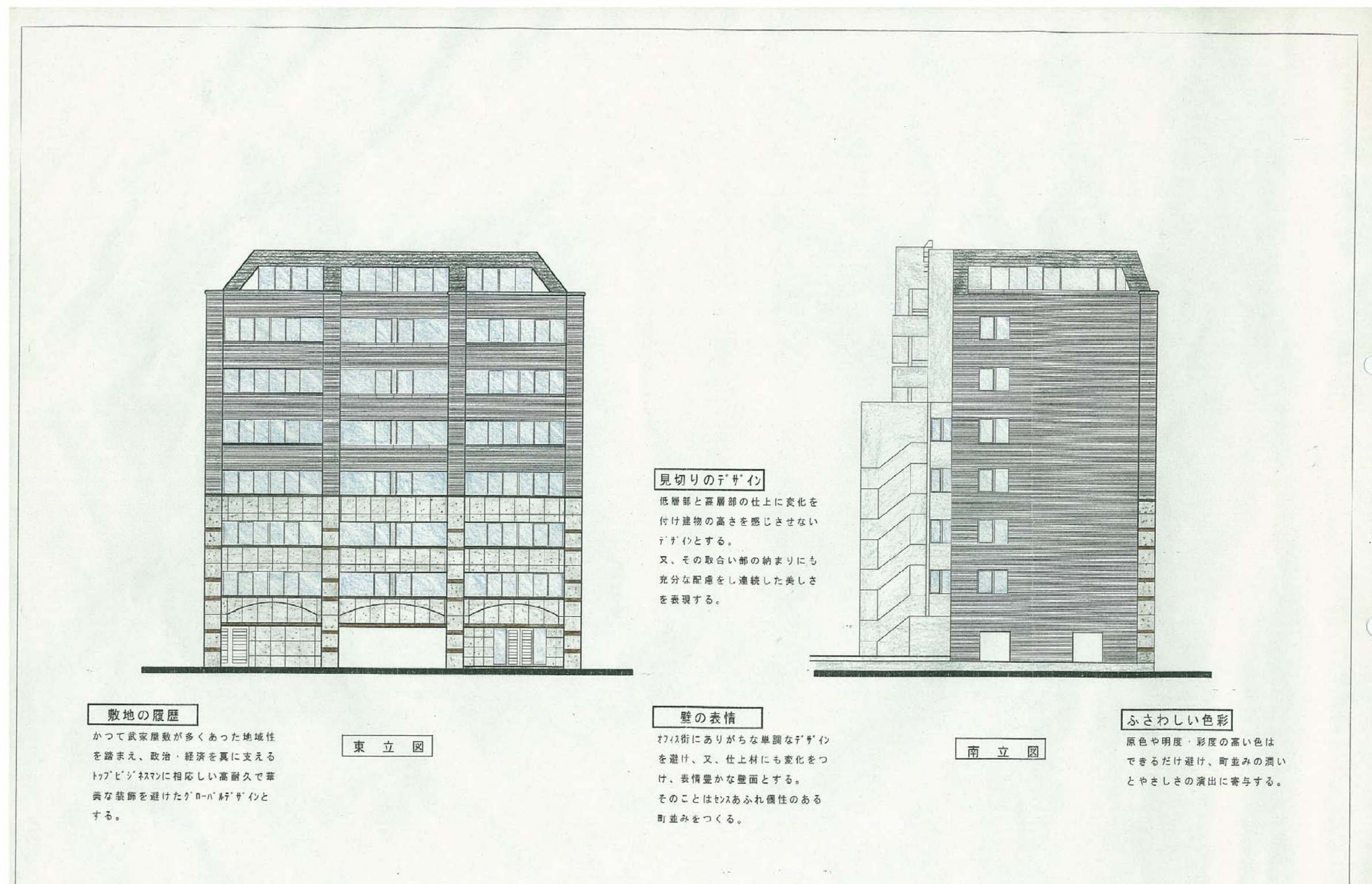
「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



着色した配置図・各階平面図

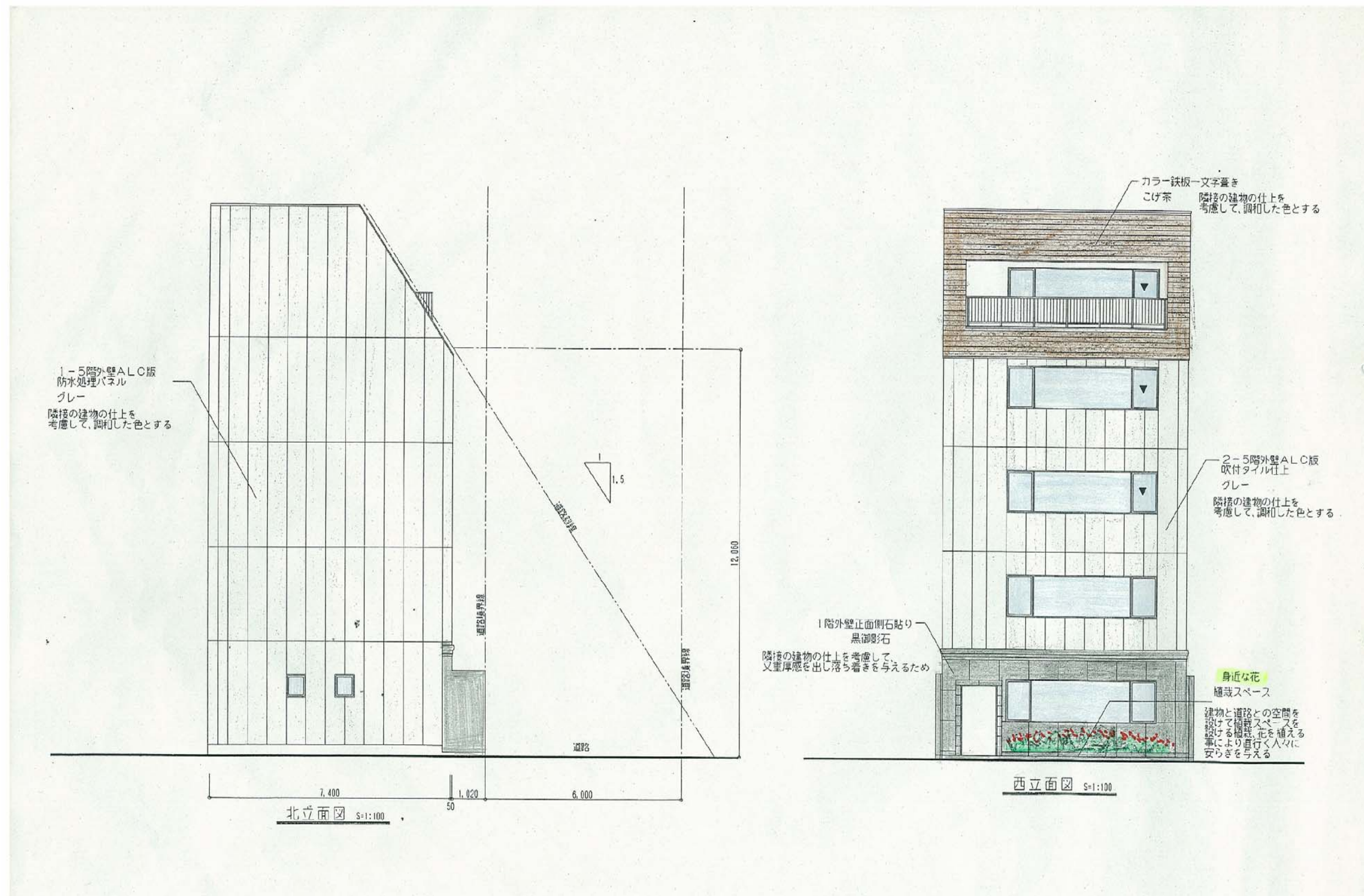
「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示

## (2) 着色した立面図



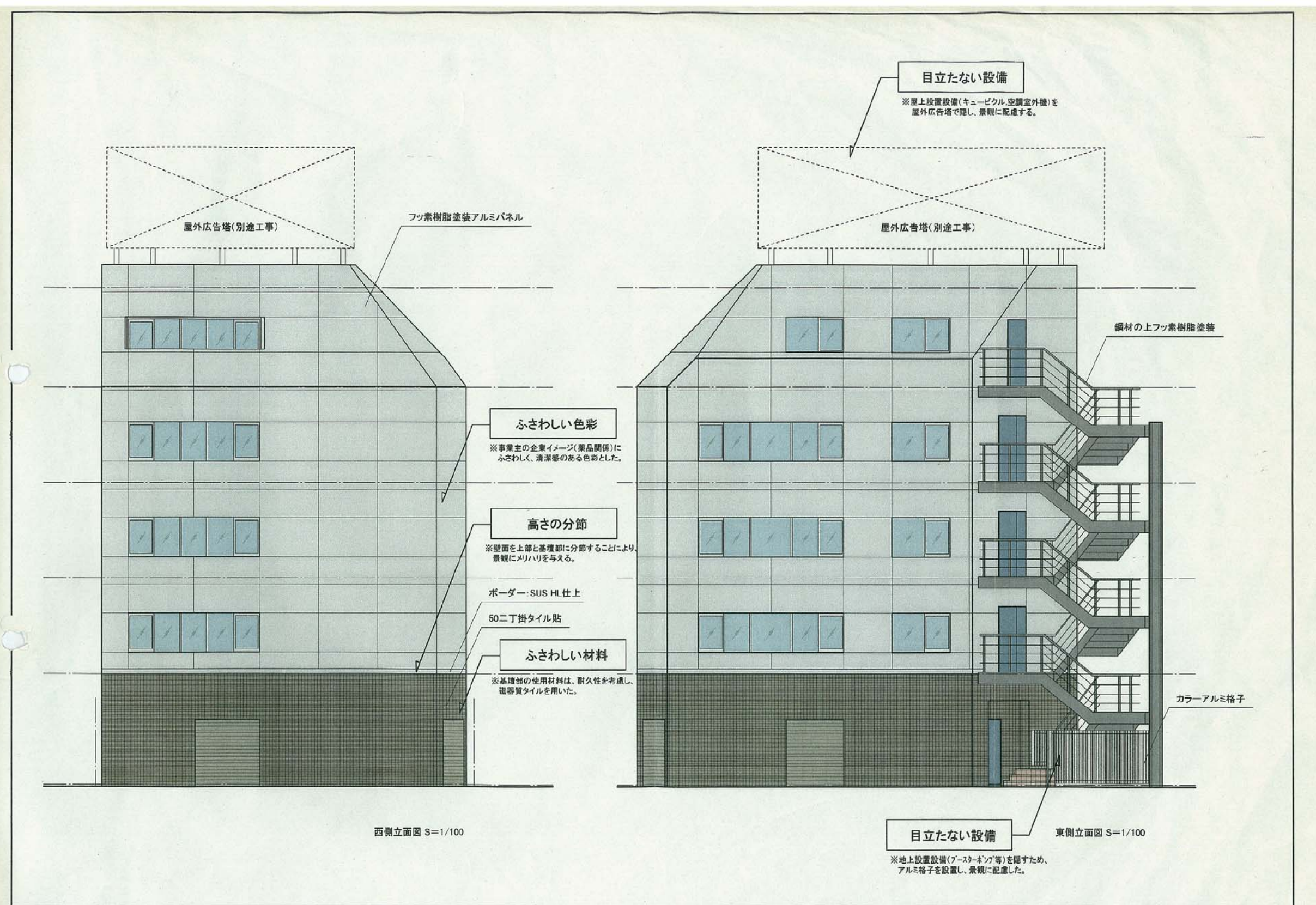
## 着色した立面図

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



着色した立面図

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



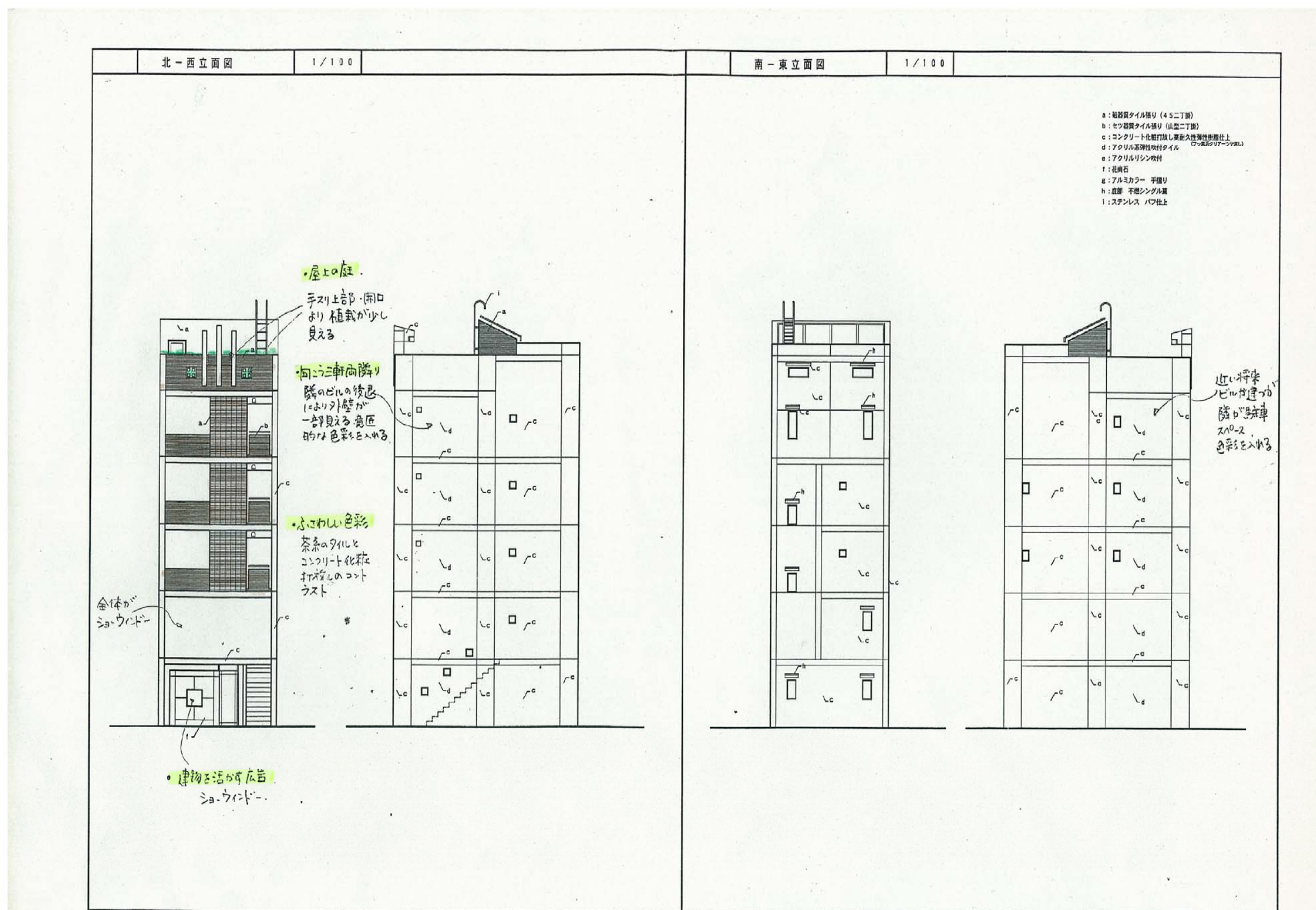
着色した立面図

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



着色した立面図

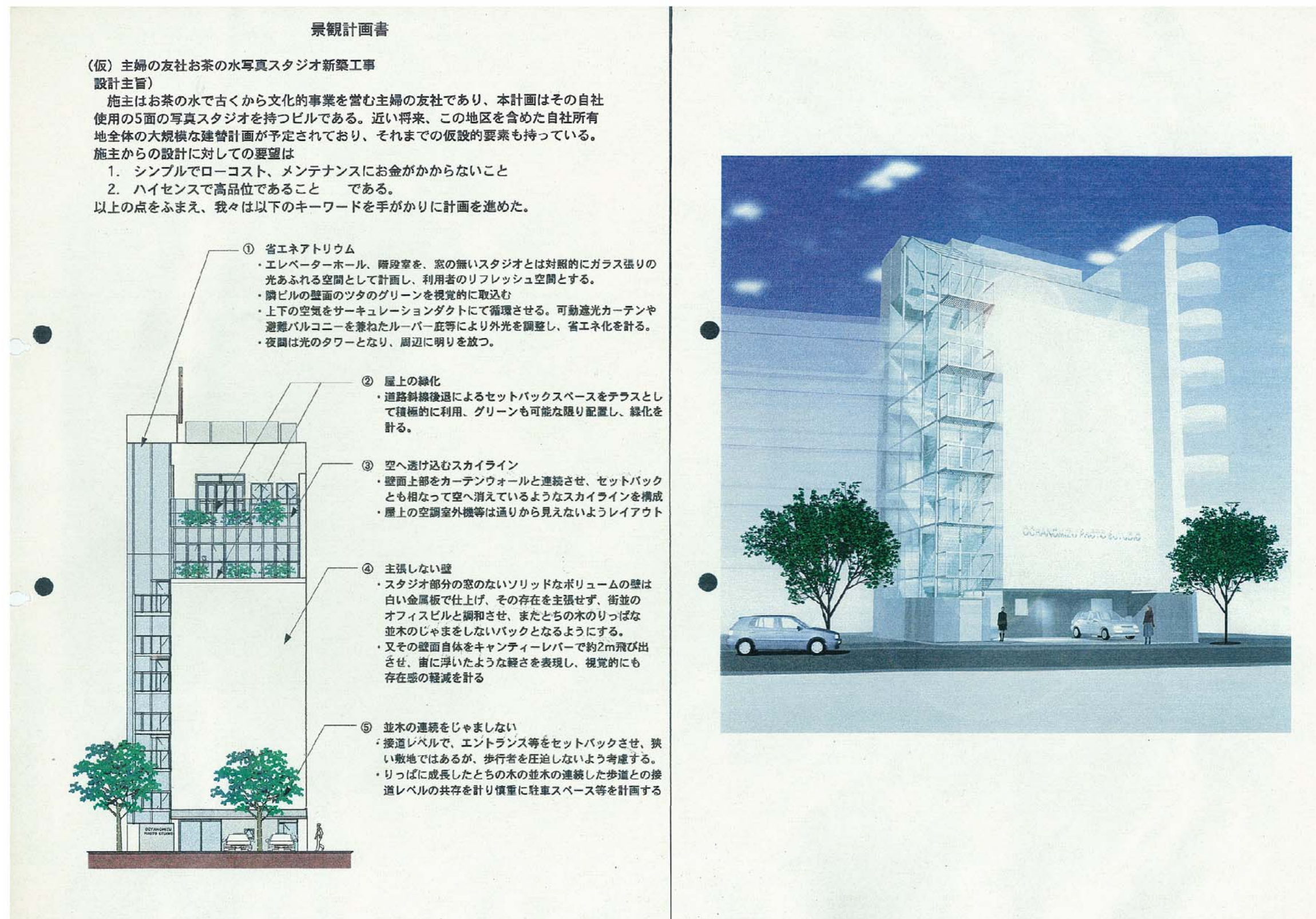
「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



着色した立面図

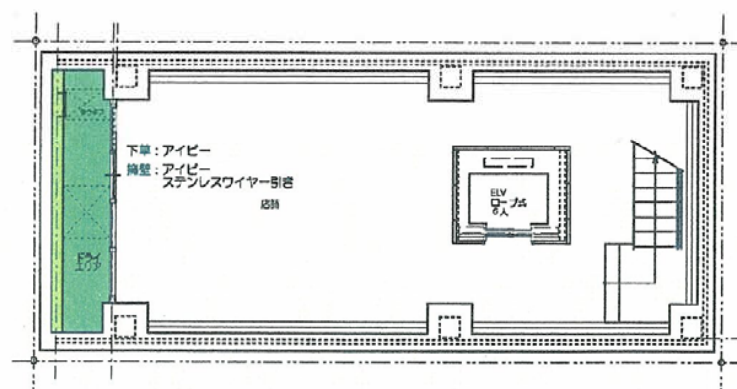
「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示

## (2) 景観計画書



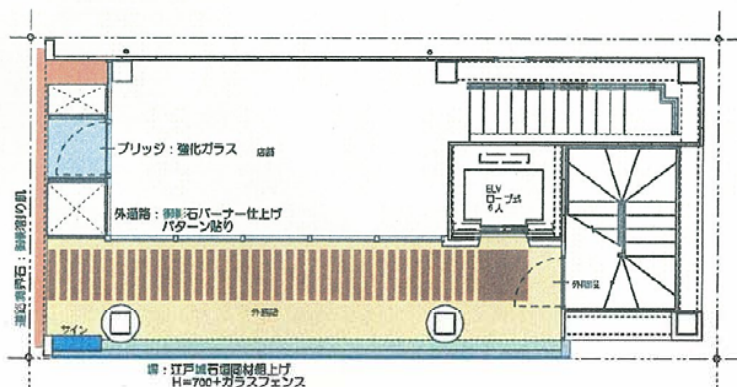
良好な景観形成に関する基本的な考え方等を整理した「景観計画書」

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



植栽・植え込みへの光の配慮には、歩道側にガラス手すりや店舗入口をガラスブリッジにし、太陽と水分を確保する。

狭小地へのデザイン配慮としてグリーンを立体的に計画、ドライエリアの底辺側面、全て利用し、地階と歩道より立体的な視覚を表現デザインとする。



江戸城と同じ石材を利用し、千代田区の地域アイデンティティを意識し、大切にしたい。  
石材を積み上げる表現にて力強く建物の足廻りをデザイン、歩道から石の種類と仕上げ方法を変化させ通りから割り肌・パーナー・磨きで計画、外通路の石積みとコントラストを強く印象的にする。

建物を明るく印象的に表現したい。バルコニー先端のデザインモールを回す事により建築階層グリットを強く、ボリューム感をより立体的に表現する。  
また、計画地が西向きな為強い陽射しを室内に入れないよう木質系ルバーを設け建物の透明感とガラスの透明感を合わせやわらかく表現・デザインした。



木製ルーバーイメージ写真



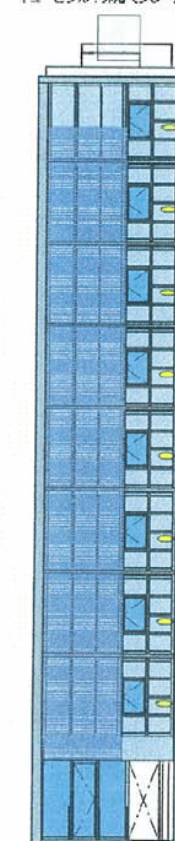
スリットイメージ写真



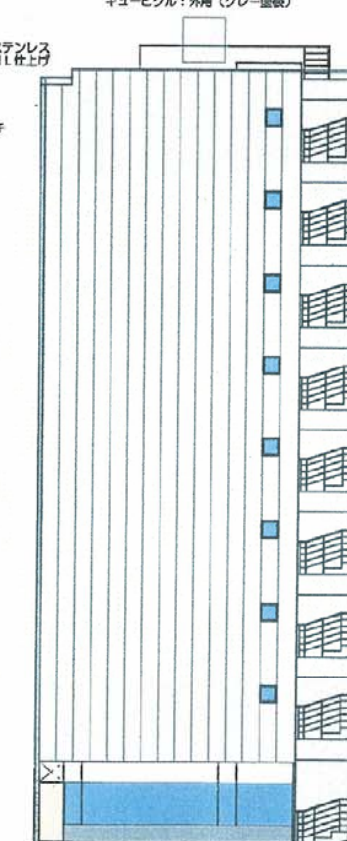
木製ルーバーイメージ写真

キュービクル: 外周 (グレー塗装)

キュービクル: 外周 (グレー塗装)



景観計画書

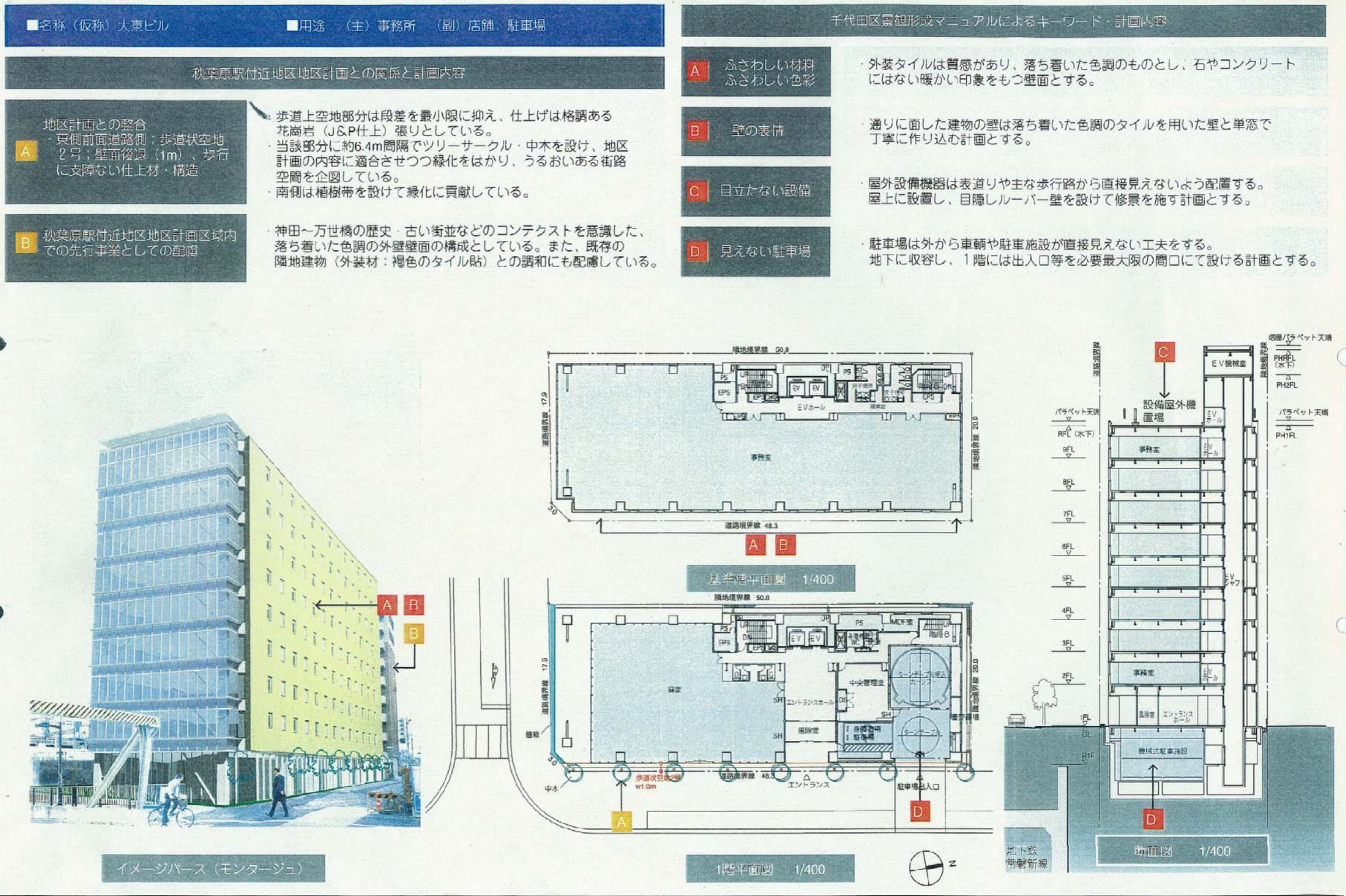


サイン  
※: 江戸城石御用材仕上げ  
H=700+ガラスフェンス

## 景観届作成例・中高層建築物

良好な景観形成に関する基本的な考え方等を整理した「景観計画書」

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示



良好な景観形成に関する基本的な考え方等を整理した「景観計画書」

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示

## 景観計画書

### 敷地の履歴上、配慮した箇所

麹町界隈は、江戸期の町割りを留める落ち着いた都心の住宅街である。マンション、オフィスビルの建設により戸建てを中心とする住宅街から中高層住宅地、商業、業務街へと変化しつつある。

新たな市街地としての形態をとりながら、歴史的街並みにふさわしい材料を用いて、**土地の履歴**を次の世代へとつなぐものとする。

### 敷地利用計画計画上、配慮した箇所

歩道に面する建物のアプローチ部分を、道路面よりも後退して計画。歩行路脇に広がりができるため、いきいきとした歩行活動をさそう。

前面道路の緑のつながりを考慮し、点在する植栽として緑地を配置。街路全体に対して**あいだの緑**として機能する。

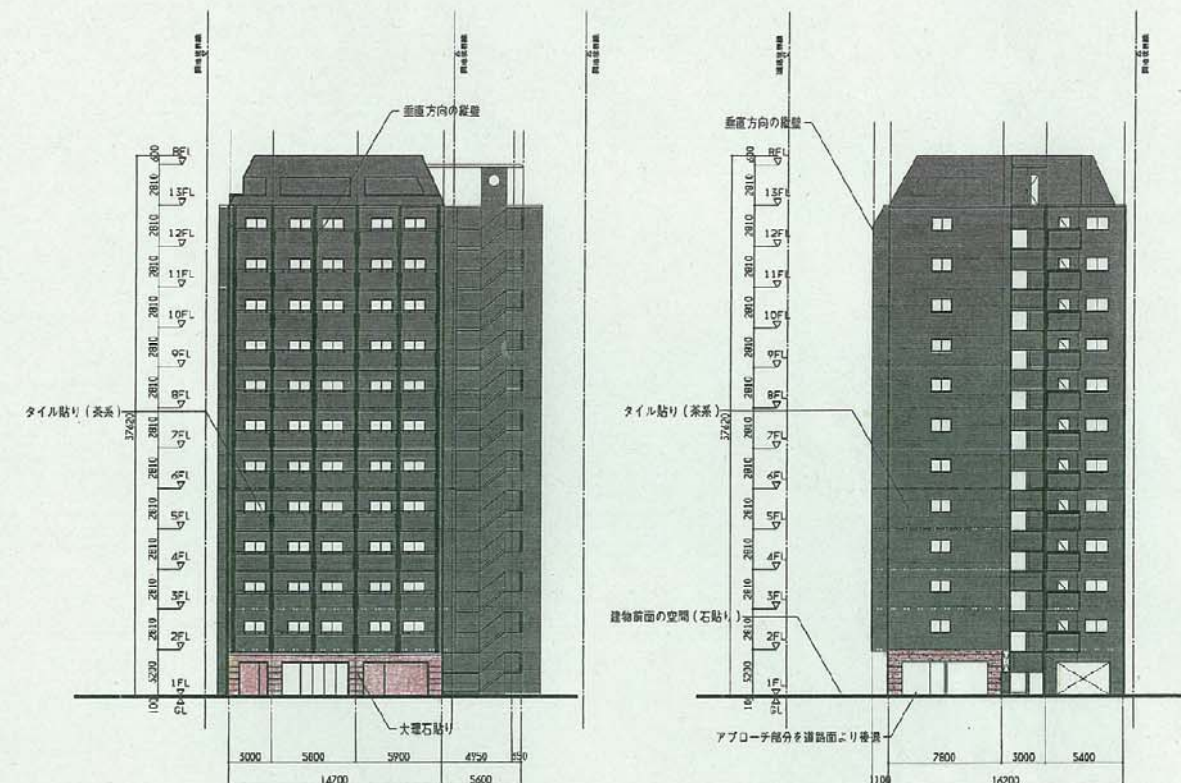
設備関連機器を建物内、柱の陰に配置し、表から直接見えないように留意。駐輪場施設は建物裏側に設定。

### 建築デザイン計画上配慮した箇所

周辺建物との高さバランスを考慮し建物全体をセットバックすることとした。建物前面に設ける空間を、石貼りとし、**歩行路ネットワーク**における小スポットと位置づける。

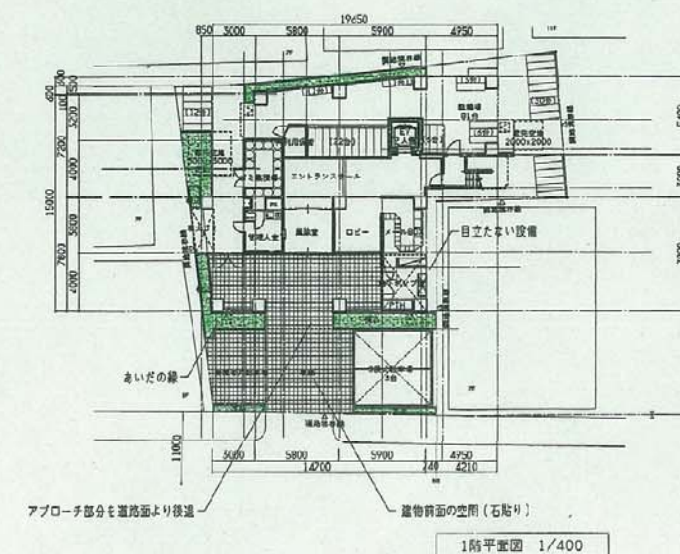
1階部分の壁面は大理石を用いた風格のあるデザインとする。大使館前から麹町大通りに至る**街並みに合った色彩**を採用する。色彩の系統は周辺の緑に映え、街並みになじむ茶系のタイルとする。

ファサード部分は端正でリズム感のある形状とし、街並みの品格に寄与する。垂直方向に縦壁を通し、水平方向には腰壁を控えたデザインとする。建物端部の縦壁は外壁面間口より内側に設け、**外壁面の表情**を演出。



東立面図 1/400

北立面図 1/400



1階平面図 1/400

良好な景観形成に関する基本的な考え方等を整理した「景観計画書」

「キーワードと景観形成の考え方」を文書で表示